



Press Release

2022年1月31日

報道関係者各位

会 社 名 第 一 三 共 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 眞 鍋 淳
(コード番号 4568 東証第1部)
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 大沼 純一
TEL 03-6225-1126

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する mRNAワクチンDS-5670のブースター接種試験開始について

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、以下「当社」）は、当社が開発中の新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」）に対するmRNAワクチン（以下「DS-5670」）の追加投与によるブースター効果を検討する国内臨床試験（以下「本試験」）を開始しましたのでお知らせいたします。

本試験は、国内において承認されたCOVID-19に対するワクチンによる初回接種（1回目・2回目接種）完了済みで、接種から6か月以上経過した健康成人及び高齢者を対象とした国内第1/2/3相試験で、DS-5670の追加投与時の安全性と有効性を評価します。最初にDS-5670の追加接種時の推奨用量を確認し、続けて国内既承認のワクチンを対照薬とした比較検討試験を4,500例で行う予定です。

現在、オミクロン株の急激な感染拡大を受け、追加接種体制の整備が世界的に大きな課題となっております。当社は、ワクチン事業を展開する国内の製薬企業として、新たな課題への取り組みを最優先し、COVID-19流行の制御による社会の安心・安全の回復に貢献するため、DS-5670の開発を推進し、2022年中の国内実用化を目指してまいります。

以 上

DS-5670について

DS-5670は、当社が見出した新規核酸送達技術を用いたCOVID-19に対するmRNAワクチンで、新型コロナウイルスのスパイク蛋白質の受容体結合領域（RBD）を標的にすることで、高い有効性と安全性が期待されます。また、DS-5670は、動物モデルにおいて、初回投与完了時にオミクロン株に対する中和活性を一定量誘導し、この中和活性は追加投与により、ブースター効果が増強することを確認しております。

DS-5670の研究開発は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「ワクチン開発推進事業」及び厚生労働省の「ワクチン生産体制等緊急整備事業」の支援を受けて実施しております。